

# 追跡レポート

—あの質問のゆくえ—

定例議会で質問された課題が、その後どのように町政に反映されたかを検証します。



収穫作業をするエコファーマー

追記 前号で掲載した「ちょぼらの家」の現状は、家賃1万円を町に納めながら事業を継続しています。

## 有機の里構想は

有機農産物認定のJAS登録機関の認証や、品質マネジメントのISO9001の取得を奨励し、計画的な土壌改良と検査・管理体制の構築をはかってはどうか。

平成15年9月定例議会

### 町長答弁

## 堆肥利用システムの運用を推進

全町的に堆肥を利用できるシステムの運用を進めています。JASやISO9001の取得は前向きに対応します。

### どうなった

## エコファーマーの認定を推進

環境に配慮した農業を推進するため「エコファーマー」の育成に取り組んでいます。平成18年度末での認証者は米、枝豆、トマト、きゅうりなどの品目で、47人となっています。今後ともエコファーマーの育成に努めながら、環境にやさしく安全な農作物生産に努めていきます。

エコファーマー...持続農業法に基づいて知事の認定を受けた農業者の愛称

## 議会の様子を見てください

傍聴手続きは簡単、議会事務局(85-6135)へお問い合わせください。

次の定例議会は **12月** です

### ● 議会中継もご覧ください

お手持ちのパソコンでご覧いただけます  
録画でもご覧いただけるようになりました

HP <http://www.townshiratakyamagata.jp/gkai/>

議会中継

### 編集後記

都会で暮らしていた時に、何気なく「汽車」と言ったら、周囲が一瞬きよとんとした顔つきになったのを、今でも覚えていています。

素直に「電車」と言葉が出ない理由は、単に子ども頃から言い慣れてきたからだけでしょうか。

何年かぶりで、最上川に架かる「鉄橋」も塗り替えられました。これが明治時代に、英国で製作されたことも知りませんでした。

10月13日に、新駅「四季の郷駅」がオープンしました。経営的に厳しい局面にあるフラワー長井線の存続を、強く願います。

20数年前に、白鷹町青年団が作成したチラシには「長井線を利用しましょう」と書いてありました。

(関)

発行責任者・議長	船山 仁
広報委員	大滝 賢
委員長	関 千鶴子
副委員長・編集長	佐藤 誠七
委員	守谷 丹吾
委員	菅原 隆男
印刷・(有)梅津印刷	